

## 緒 言

- 一、本書の子守唄はすべて昔から我が國で歌はれてゐたものである。
- 二、本邦固有の音律からなる日本子守唄のみをもつて本書を編纂した理由は斯うした歌曲が國民の美感を養ひ徳性を涵養する上に必要な材料であると信じたからである。
- 三、本書の旋律は、著者がこの子守唄の歌はれてゐた地方で採譜しそれを編曲したものである。
- 四、本書の歌詞中「坊やはよい子だ」「宮まゐり」「小山の子兔」の三編は古謠で他の二編「夢のまに」及び「風鈴」は原歌詞の文意を斟酌して新作したものである。
- 五、本書の歌曲の題名は「坊やはよい子だ」(日本子守唄)の如く二様に掲げたが、その何れを採用するも差支ない。

昭和十三年一月

著 者